

第1章 プランの基本的な考え方

1. 総合環境プランの目的

村民の感性を満たし、心を豊かにする自然環境と景観及び潤いのある良好な生活環境を築くため、村民・企業・行政が共に行動し、自然環境の保全、保護並びに利活用に配慮した新たな独自の村づくりを進め、次世代に適切に引き継ぐことを目的として東通村総合環境プランを策定します。

2. 総合環境プラン策定の背景

東通村は、“飛躍する未来を拓くむらづくり”のために平成7年「東通村新総合開発振興計画」を策定。自然・景観と調和し、尚且つ東通原子力発電所並びに風力発電との共生を図りながら『いつまでも住んでいたい、住んでみたくなる村づくり』を目指し、教育、福祉、生活環境の整備の充実を図っていくこととしています。

この教育・福祉・環境を整えることが次世代のために行う3つの柱と考えています。

①教育

総合教育プラン「教育環境デザインひがしどおり21」（平成17年3月）に基づく幼小中一貫教育を柱とした学力向上等施策を展開。さらには17校あった小、中学校を小学校1校、中学校1校に統合し全国的にも先進的な取組みとして注目され、見学者が絶えません。

②福祉

「保健・医療・福祉」の連携のため、保健福祉センター、診療所、介護老人保健施設を開設（平成11年～17年）し、県内では包括ケアの先進地として知られています。

③環境

ゴミ処理、下水道は実施中であるものの、東通村の豊かな自然の保護と環境を保全するため、平成16年度に他自治体に先駆け制定した「東通村自然環境保全に関する条例」及び「東通村生活環境保全に関する条例」は具体的な施策展開に至らず、上記の教育、福祉の整備に比較すると、環境への取組みは遅れているのが実情です。

以上により、自然と生活環境の保全を目指した「総合環境プラン」策定の必要性が高まったものであります。

また、村民歌に『緑の丘、青い林、丘を越え林を縫って道は続く太平洋へ・・・』と謳われた、美しい東通村（明治22年村制施行以来）の様々な環境（海・山・川・農地・漁場・家屋・産業・生活様式等）が、戦後の高度成長期以降、急速に変化し、村民の心の拠り所であった“原風景”が失われつつあります。

- 里山の風景が耕作放棄地などで悪化した。
- ゴミのポイ捨て・不法投棄が多くなった。
- 小中学校の統合による廃校が多い。
- 茅葺屋根の家屋が消え、集落としてまとまった景観が消えつつある。
- 雑木林が植林や開発などで失われつつある。
- 盗掘で貴重な山野草が失われつつある。

等々、このような状況を憂う声はアンケートでも村民の間に広がっており、今こそ真剣に環境、景観を考えるときであります。

そのためには、現状維持や改善だけにとどまらず、歴史や文化を大切にし、自然と景観との調和や将来を見据えた創造的かつ理想的な景観デザインを描くことに取り組まなければなりません。

さらに、東通村の基幹産業である第一次産業は最近では「生態系サービス」と分類されております。

これは、動植物（生物の多様性）を活用する際には、持続可能な産業として、その生態系を管理することが重要であるという、世界的な思想に基づくものであり、認識は広まりつつあります。

多くの生態系サービスを享受している村として、自然と産業との関係性を重視し持続可能な生態系の保全に率先して取り組まなければなりません。

原子力発電や風力発電、豊かな自然資源を有する東通村は地球環境に貢献しています。

これを自信・誇りとして、「自然資本経済」をリードする更なる取り組みが必要です。

【生態系サービスとは】

自然由来の資源を活用した産業で、特に生物多様性に配慮することが必要な6サービスをいいます。獲り過ぎによる資源の枯渇や管理を必要とする産業のことです。

- ①石油ガス業・・・・・・・・石油販売業
- ②鉱業・・・・・・・・砂利・セメント
- ③水力発電
- ④農業（アグリビジネス）農業者・農協等
- ⑤林業・・・・・・・・造園・森林組合等
- ⑥漁業・・・・・・・・漁業者・漁協等

さらに近年は、世界的にも地球温暖化対策、生物多様性のあり方が国家規模で協議されており、温室効果ガスの抑制、生態系サービスへの取り組みが経済・産業の要として急ピッチで進められている状況にあります。

従来の大規模生産・大規模消費から、省エネルギー（エコ家電等）、排ガス抑制（エコカー等）、森林資源（用材から二酸化炭素吸収源）、生態系の保全（開発規制）など、環境からの視点においては、今までの価値観が大きく変動（パラダイムシフト）する時代となってきました。

3. 総合環境プランの考え方

総合環境プランは、「東通村自然環境保全に関する条例」及び「東通村生活環境保全に関する条例」を基に、国の環境基本法をはじめとした関係法令（公害防止、廃棄物規制、地球環境、都市計画、国土利用計画等）に基づく環境規制を補う性質を持ちつつ、当村の特徴ある自然環境や生活様式に立脚した計画とします。

また、環境に対する人間の評価は人それぞれであり、価値観や利害関係も複雑に交錯します。

- ① 自然の価値（自然は無料ではない。ポスト工業化、経済産業の発展）
- ② 風景や景観は単なる眺めではなく、サービス業である。

環境と人間との良好な関係性を追求し、推進していきます。

○東通環境宣言

「東通イニシアティブ」

（意味：率先してやること。首唱。）

東通村は環境の保全に率先して取り組みます。

○東通村の取組み体制

村民・企業・行政のほか、仕事や旅行、釣りや山菜取り等で村を訪れる者（滞在者等）についても、環境や景観に対して共通の認識（関係性）を持ってもらうことが重要です。

いわゆる、これまで企業に課せられてきた社会的責任（CSR）に習い、「東通村の環境施策を進める上での社会的な責任」として、4者の取り組みを示し、推進していきます。

— 東通VACS — (ボックス)

- 村民の社会的責任
(VSR Villager Social Responsibility)
- 行政の社会的責任
(ASR Administration・・・同上)
- 企業の社会的責任
(CSR Corporate・・・同上)
- 滞在者等の社会的責任
(SSR Stayer・・・同上)

これにより、様々な取り組みを行い、結果として、村の美しい景観が連鎖的につくられていき、美しき故郷・心の故郷となっていくことを目指します。

「東通村総合環境プラン」

— 東通 V A C S —

～ 4者の社会的責任と関係性で取組みます ～

【村民の責務】(VSR)

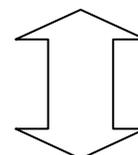
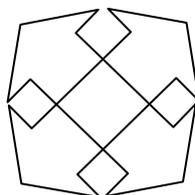
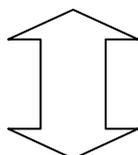
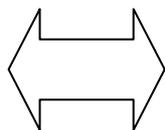
Villager Social Responsibility

- 自ら良好な環境の確保に努める
 - ・不法投棄、ポイ捨て、盗掘、ゴミの分別、省エネ、リサイクル
- 村が実施する良好な環境の確保に関する施策への協力
 - ・ボランティア、人足等

【行政の責務】(ASR)

Administration Social Responsibility

- 基本的かつ総合的施策と実施
 - ・環境配慮型公共工事、清掃活動の主導、政策立案等
- 国県などとの広域的施策の取り組み
 - ・温室効果ガス抑制施策
 - ・生物多様性サービスの普及
- 関係機関との連携、調整
 - ・4者の他 NPO、NGO との連携



【企業の責務】(CSR)

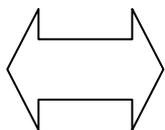
Corporate Social Responsibility

- 事業活動の実施にあたって、自ら良好な環境の確保に努める
 - ・温室効果ガスの抑制及び生態系サービスの持続可能な社会の形成
 - ・緑化、普及啓発活動
- 村が実施する良好な環境の確保に関する施策への協力
 - ・ボランティア等

【旅行者・滞在者等の責務】(SSR)

Stayer Social Responsibility

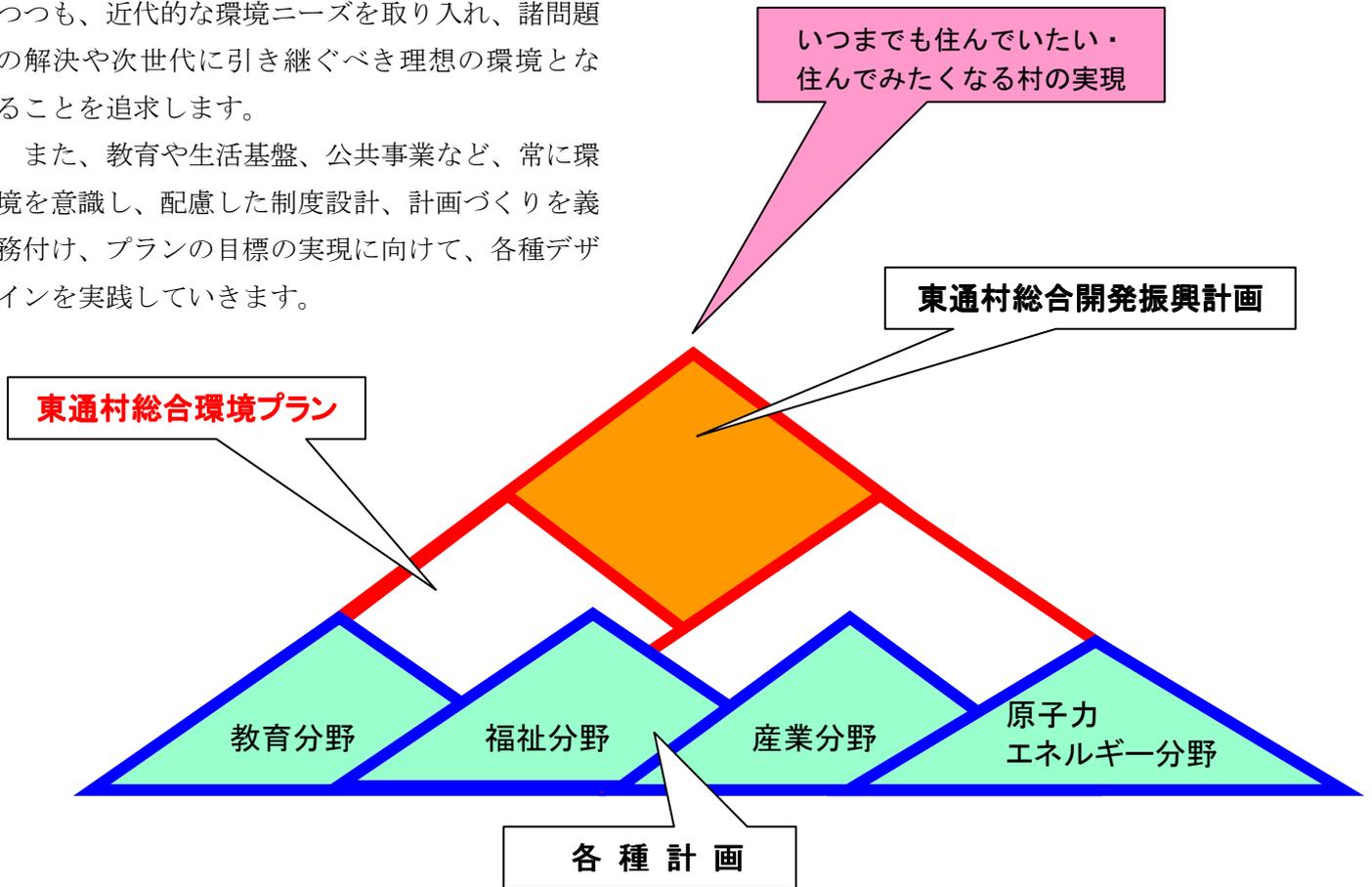
- 自ら良好な環境の確保に努める
 - ・不法投棄、ポイ捨て、盗掘、ゴミの分別、省エネ、リサイクル
- 村が実施する良好な環境の確保に関する施策への協力
 - ・ボランティア、活動への普及啓発



4. 総合環境プランの位置づけ

総合環境プランは、東通村新総合開発振興計画における「良好な環境を育む」との整合性をとりつつも、近代的な環境ニーズを取り入れ、諸問題の解決や次世代に引き継ぐべき理想の環境となることを追求します。

また、教育や生活基盤、公共事業など、常に環境を意識し、配慮した制度設計、計画づくりを義務付け、プランの目標の実現に向けて、各種デザインを実践していきます。



いつまでも住んでいたい・
住んでみたくなる村の実現

東通村総合開発振興計画

東通村総合環境プラン

教育分野

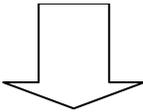
福祉分野

産業分野

原子力
エネルギー分野

各種計画

- ・環境教育
- ・エネルギー教室
- ・東通科（環境）
- ・体験学習
- ・生涯学習
- ・廃校活用
- ・独居老人対策
- ・コミュニティ
- ・生きがいつくり
- ・子育て支援
- ・ゴミ不法投棄
- ・リサイクル
- ・休耕地対策
- ・伐採植林
- ・河川水質保持
- ・生態系保持
- ・騒音振動対策
- ・大気煤煙対策
- ・原子力発電
- ・太陽光風力発電
- ・バイオマスエネルギー
- ・地球温暖化対策
- ・EV車普及推進
- 等……



環境に配慮した事業計画・実施計画に反映

「持続可能な循環型社会の形成」・・・省エネ、低炭素、リサイクル
 「生きがいや安らぐ空間の創出」・・・保健福祉医療、コミュニティ、まちづくり
 「感性を揺り動かす風景と景観」・・・自然保護、眺望風景、植栽、色彩
 「生物の多様性を考慮した事業」・・・道路、農林道、河川海岸、公共施設